

プログラム：(予定)

前期

回数	月日	題目(仮)	講師
1.	4月15日	コンピュータを用いたグラフィクスと画像処理技術	橋本 昌嗣 (日本 SGI)
2.	22日	コンピュータシミュレーションの可視化 ーガイダンスとしてー	長嶋 雲兵 (産業技術総合研究所)
3.	5月 6日	タンパク質構造とコンピュータグラフィックス	広川貴次(産業技術総合研究所)
4.	13日	宇宙気象とその可視化 ーオーロラの神秘ー	蔡東生 (筑波大学)
5.	20日	天文データの可視化	林満 (科学技術振興事業団)
6.	27日	FEMによる応力解析と可視化	長嶋 利夫 (上智大学)
7.	6月 3日	コンピュータを着て街へ	西岡貞一 (凸版印刷株式会社)
8.	10日	メディアアートの可能性	内山博子 (女子美術大学)
9.	17日	生体細胞シミュレーションの可視化	小山田耕二 (京都大学)
10.	24日	超音波を用いた医用可視化技術	炭 親良(上智大学)
11.	7月1日	認知科学と脳の可視化	道又 爾 (上智大学)
12.	8日	実写に基づく CG 合成	苗村健 (東京大学)
13.	15日	可視化技術が拓く新たな世界	藤代一成 (お茶の水女子大学)

後期

回数	月日	題目(仮)	講師
1.	10月7日	進化する可視化技術	小野 謙二 (東京大学)
2.	14日	宇宙探査における可視化	久保田孝 (宇宙航空研究開発機構)
3.	21日	“仮想地球”の可視化とその表現	荒木文明 (地球シミュレータセンター)
4.	28日	都市の大気環境シミュレーションと可視化	神田学 (東京工業大学)
5.	11月4日	土木・建築における可視化事例	萩原豊 (電力中央研究所)
6.	11日	建設技術と可視化	森川泰成 (大成建設株式会社)
7.	18日	通信応用における可視化情報のデータ圧縮	川中 彰 (上智大学)
8.	25日	ビッグバンの可視化	戎崎俊一 (理化学研究所)
9.	12月2日	観測とシミュレーションで地震を見る	青井 真 (防災科学技術研究所)
10.	9日	VRを用いた教育コンテンツ	井門俊治 (埼玉工業大学)
11.	16日	教育工学における可視化技術の応用	田村 恭久 (上智大学)
12.	1月6日	複合現実感：現実空間と仮想空間との融合	大島 登志一(キヤノン(株))
13.	13日	VRとビジュアライゼーション	廣瀬通孝 (東京大学)